

入門講座 長崎の部落史

長崎の部落史をテーマに連続講座を行います。今回は、研究所から発行されている長崎人権ブックレット「こだわって部落問題」(その 1~5)を中心とした6講座です(裏面参照)。ふるってご参加ください。

講師：阿南重幸 (NPO 法人長崎人権研究所副理事長)

期日：毎月第4土曜日 (8月から1月 裏面参照)

形式：オンライン講座 (zoom で配信します)

時間：午前 10 時から講義 (60 分) 質疑 (30 分)

ただし最終の 1 月は対面を併用し、時間を 15 時からとします (会場は未定)

受講料：1,500 円 (6 講座分です)

主催：NPO 法人長崎人権研究所

共催：長崎県人権教育研究協議会・部落解放同盟長崎県連合会

受講要領等

1)受講申込者には、講座の配信 URL 及び資料(レジュメ等)をメールでお送りしますので、お申込みの際は、必ずメールアドレスをご記入下さい。受講料(1,500 円)については、下記のいずれかの口座にお振込みください。

・九州労働金庫長崎支店 普通 5569794 特定非営利活動法人長崎人権研究所理事長石村栄一

・十八親和銀行大学病院前支店 普通 203127 特定非営利活動法人長崎人権研究所

2)各講座の終了後、各講座の動画を動画配信サイトの Vimeo にアップロードします。視聴方法は、終了後にお知らせします。

3)なお、次年度は「各論編」として、少し深い研究をテーマに講座を行います。対馬藩の部落史 諫早領の部落史 長崎の水平社運動 東アジアの皮革流通 被差別民のキリスト教受容、等です。詳細は、本講座終了後お知らせします。ご期待ください。

連絡先

NPO法人 長崎人権研究所

〒850-0048 長崎市上銭座町 2 番 7 号

TEL095-847-8690 fax095-847-8696

E-mail : nhrri1979@iaa.itkeeper.ne.jp

日程及び内容

① 教科書から土農工商が消えた？（8月24日）

部落問題が教科書に登場して 50 年が過ぎた。その記述には歴史研究の進展に伴って、様々な変遷がある。何が変わったのか？

② 長崎の部落問題（9月28日）

長崎県ではどのような差別事件が起こったのか？古地図の展示をめぐって、結婚差別事件、「賤称語」発言、部落差別を利用した恐喝でつち上げ事件。直近の県民意識調査では？

③ 長崎の被差別部落（10月26日）

長崎は街づくりの中で「かわた」町という被差別部落が形成された。彼らは何をし、どんな歴史をたどっているのか？

④ 浦上であること（11月23日）

クリタンと部落、そして原爆。浦上を舞台に差別と迫害が繰り返された。

⑤ 部落問題と新聞報道（12月28日）

明治以降発行された新聞には意外と部落問題に関する記事が多い。ここではそれらの記事を通して部落の歴史に迫る。

⑥ 原爆と被差別部落（1月25日）対面併用、会場は未定。

本年は被爆 79 周年を迎える。『ふるさとは一瞬に消えたー長崎・浦上町の被爆と今』（解放出版社、1995 年）から、原爆によって、被差別部落が強いられた変遷を解き明かす。

「原爆と被差別部落」は人権ブックレット（その7）として刊行の予定です。

***なお、人権ブックレット「こだわって部落問題」をご入用の方は研究所にお申し込みください。（各冊 300 円。一部は在庫に限りあり）**

申し込み用紙 * 受講申込は8月16日(金)までに提出ください。

お名前	メールアドレス ()
ご住所 (〒)	TEL ()

ファックス or メールでお申し込みください。